

いのち～さよなら

江口 あけみ 作詩
神野 和 博 作曲

なにかがーおわる ときがすき なにかがーはじまる ときだからー

なにかがーはじまる ときがすきー なにかがーめばえる ときだからー

なにかがーめばえる ときがすきー いのちがーもえだす ときだから

きみがーきみで ある ためにー ぼくがーぼくで ある ためにー かん ばい

きみにーあえて よ かったよ こんにちは あいさつー したー ときー

どこかでちいさな さよならが うまれてー いたんだ ね

なにかがーはじまる ときがすきー なにかがーめばえる ときだからー

なにかがーめばえる ときがすきー いのちがーもえだす ときだから

なにかが終わるときがすき なにかが始まる ときだから
 なにかが始まる ときがすき なにかが芽生える ときだから
 なにかが芽生える ときがすき いのちが燃え出す ときだから

君が君である ために 僕が僕である ために 乾杯
 君に逢えてよ かったよ こんにちは あいさつ した とき
 どこかで 小さな さよならが 生れていた んだね

なにかが始まる ときがすき なにかが芽生える ときだから
 なにかが芽生える ときがすき いのちが燃え出す ときだから